

天下の趨勢を決めた「組織のカタチ」 ～家康公と三河家臣団 VS 豊臣兄弟～

徳川宗家 第19代当主

徳川 家広 氏

1965年、東京に生まれる。

徳川家康から数えて第19代目の当主に当たる。

慶應義塾大学経済学部卒業後、米シンガン大学大学院で経済学修士号を取得し、国連食糧農業機関（FAO）ローマ本部およびベトナム支部で国際経済・開発政策に従事。その後、米コロンビア大学大学院にて政治学修士号を取得した。2000年の帰国後は、翻訳家・政治経済評論家として、経済思想、国際政治、歴史・制度研究などの分野で著作と翻訳を手がけ、海外の主要文献を日本に紹介してきた。2021年6月に公益財団法人徳川記念財団理事長に就任。徳川宗家に伝来する歴史資料・美術工芸品の保存、調査研究、公開事業を統括している。2023年1月には、徳川宗家19代当主を継宗し、歴史的資産の保護とともに、江戸期に育まれた精神性や文化の現代的継承に取り組んでいる。



定員
200名
岡崎商工会議所
会員限定

2026

3.11

水

聴講
無料

16:30 ～ 17:40

会場 岡崎商工会議所 1階大ホール

家康公が築いた260年もの長期安定政権。

その礎となったのは、現代のビジネスにも通用する家康公の「組織づくり」の考え方。

なぜ江戸幕府は安定したのか。大きな結束力を生んだリーダー像と、内部分裂をおこさないリーダーシップについて徳川家広氏にお話しいただきます。この機会にぜひご参加ください。

FAX番号 0564-53-0101

「特別講演会」参加します

貴事業所名

/ 連絡先

参加者氏名 ①

/ ②

●ご記入いただいた情報は、岡崎商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用いたします。

